

OKUNOTO FIRE DEPT.

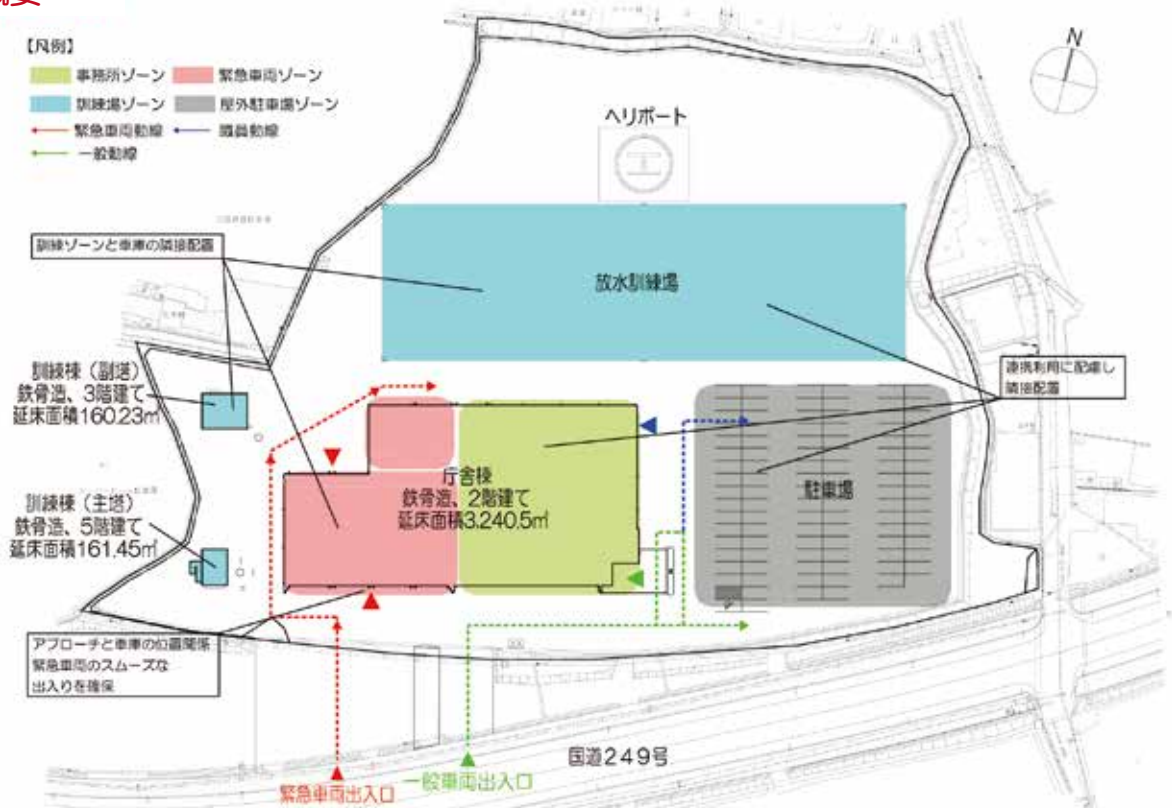
奥能登広域圏事務組合 消防本部・輪島消防署

新庁舎案内



奥能登広域圏事務組合消防本部・輪島消防署

●施設概要



○災害に強い庁舎：地震や台風などの自然災害に強い庁舎

- ・耐震構造を採用し大地震後、構造体の補修をすることなく建物を使用できることを目標とし人命の安全確保に加えて十分な災害対応機能確保が図れる
- ・インフラが破壊されても機能を維持できる
- ・被災した市民に必要な非常用物品の備蓄と一時避難所の確保

○人にやさしい庁舎：訪れる人と働く人にやさしい庁舎

- ・来庁する市民と勤務する職員の動線分離
- ・職員の生活空間としてのプライバシー確保
女性消防職員に対応し、女性専用のトイレや仮眠室、更衣室等を計画
仮眠室は半個室の空間とし、職員のプライバシーを確保

○経済的で地球にやさしい庁舎

- ・自然換気、自然採光等の自然エネルギーの積極利用
- ・省エネルギー設計によりライフサイクルコストの低減
熱負荷…複層ガラス、高断熱材の採用などを用いて建物への熱負荷を軽減
空調…個別制御・省エネ型の機器を採用、自然換気の有効利用
照明…LED照明、個別スイッチ、人感センサーの採用や
自然光を積極的に取り入れた設計により維持管理コストの低減

○町並みと文化に調和する消防庁舎

- ①漆赤、漆黒の採用
単色ではなく、深みのある色彩で強さの中に上品さを演出
- ②水平ラインを強調したプロポーション
- ③伝統建築をモチーフに採用
「下見板張り」をモチーフとした横張りの仕上げ材
「連格子」と「沈金」をモチーフとしたルーバーと色彩を採用

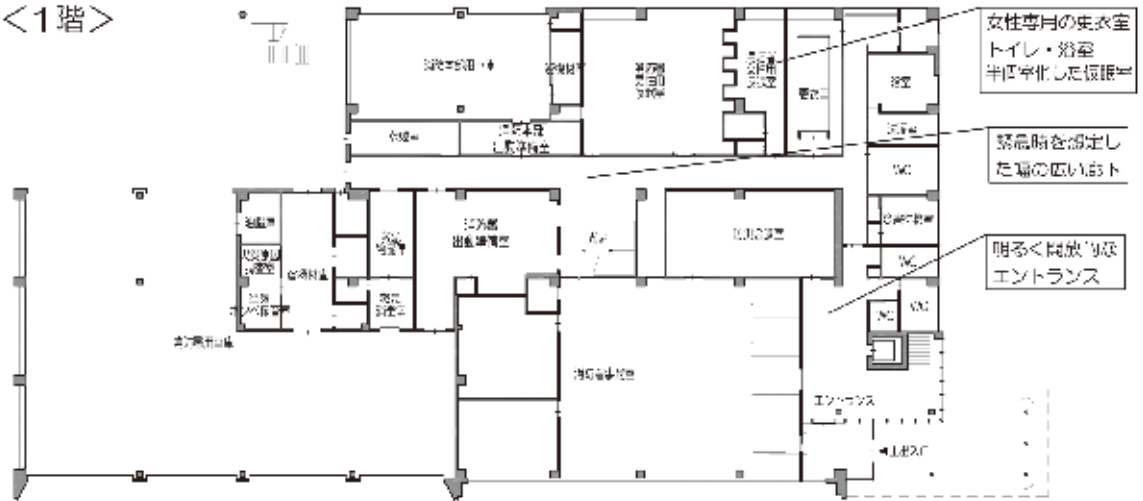
○地域のシンボルとなる消防庁舎

- ①前面道路に面して消防車を配置
- ②前面道路からすぐ確認できる「119」のサイン
- ③漆塗りと消防をイメージさせるアクセントの「赤色」の採用
- ④ガラス等を採用した透明感のあるエントランス
- ⑤ガラス越しに親しみのある「木」等の素材を配置

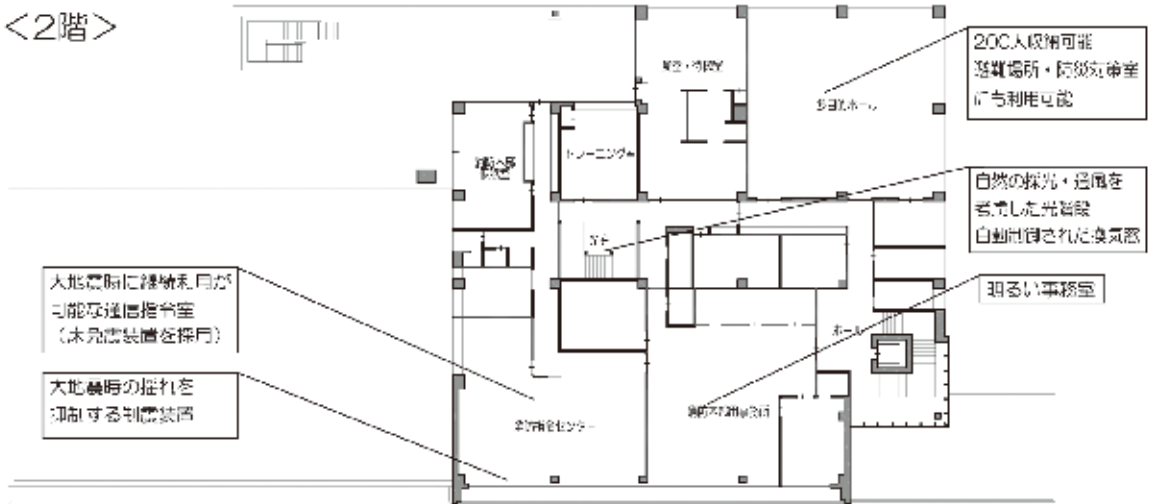


●施設構成

<1階>



<2階>



付帯設備



〈訓練棟（主塔）〉



〈訓練棟（副塔）〉



〈屋上〉

庁舎概要

場 所 輪島市杉平町大百苺2番地(代表地番)
 敷地面積 約14,900㎡
 延床面積 庁舎棟3,240.5㎡、訓練棟(主塔・副塔)321.68㎡
 構 造 鉄骨造2階建、一部3階建
 〈1階〉 輪島消防署
 〈2階〉 消防本部、消防指令センター、多目的ホール等
 〈3階〉 電気機械室

耐震性能：特に重要な防災拠点施設として建物の設計時に一般建物に求められる耐震性能の1.5倍を上回る設計で、震度6強から7程度の地震に対しても機能を維持、継続できる構造としています。

- その他
- ・建物の揺れを小さくする制震構造
 - ・消防指令センターは、建物が揺れても室内はほとんど揺れないフロア免震
 - ・消防操法訓練大会等ができる広い訓練場
 - ・迅速な災害対応ができるヘリポート
 - ・備蓄倉庫、煙体験のできる救助訓練棟2塔

〈奥能登広域圏事務組合シンボル・マーク〉



外の円は「OKUNOTO」の「O」で圏域を構成する2市2町の和と協調を表し、円内の「△」は広域市町圏の「広」を図形化したもので、構成市町がしっかりとスクラムを組み前進する様を表しています。

(昭和50年2月、公募により制定)。

位置図



奥能登広域圏事務組合消防本部

〒928-0011 石川県輪島市杉平町大百苺2番地

電話 **0768-23-0119(代表)**
 FAX 0768-23-6767

庶務課 0768-23-6771
 予防課 0768-23-6772
 警防課 0768-23-6773
 情報指令課 0768-23-6774

輪島消防署 0768-22-0327(代)
 門前分署 0768-42-0649
 町野分署 0768-32-0119

<http://www.okunoto119.jp/>